

講義科目名称： 実践ベンチャービジネス1 C5-A19-50 D4- 科目コード： 19470
A14-50

英文科目名称： Venture Business Training1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年前期集中	3	10	選択必修
担当教員			
林 章浩・大相 弘順・松田 崇・浜松ソフト産業協会（主として（株）シーポイントラボの青木 悠樹・高橋 良季）			
添付ファイル			

講義概要	・週2日（10コマ） * 1日（5コマ）：（株）シーポイントラボ（本講義は、浜松ソフト産業協会の支援を得て実施する）において研修。 * 1日（5コマ）：大学において実習（データ収集、営業活動等のため外部で実施する場合もある）。 ・単なる講義、演習ではなく、学内に存在する一つの擬似的な会社組織として運営し、目的とする業務をこなしていく。これに伴い、必要に応じて授業計画の内容を見直す場合がある。将来的には、経営体としての法人化を目指す。 ・4年生の卒業研究のテーマとして業務を引き継ぐことが可能である（引き継いでくれることを期待する）。また、1, 2年生も見習社員として受け入れ可能とする。この科目は、情報システム開発分野の実務経験のある教員が担当する科目である。		
授業計画	1	ガイダンス 今回の「就職に役立つ学生SNS」の目的・目標の共有 ・課題：業務週報の提出。	
	2	SNSの研究（市場調査） システム制作に向けて、各種SNSを研究する Facebook・mixi・その他 ・課題：業務週報の提出。	
	3	リクルートの研究（市場調査） 現状の静岡の大学生のリクルーティング・全国のリクルーティング ・課題：業務週報の提出。	
	4	ビジネスプラン策定 「就職に役立つ学生SNS」のロードマップを作成 (1年間だけでなく、次年度に繋がるゴールをイメージする) ・課題：業務週報の提出。	
	5	データベースの理解 PostgreSQL, MySQL等々フリーのDBを理解する ・課題：業務週報の提出。	
	6	PHPプログラミングの理解 PHPを理解する ・課題：業務週報の提出。	
	7	Javascriptを理解 Javascriptを理解する ・課題：業務週報の提出。	
	8	HTML5を理解 HTML5を理解する ・課題：業務週報の提出。	
	9	CSSを理解 CSSを理解する ・課題：業務週報の提出。	
	10	ネットワーク全般の理解 ネットワーク全般を理解する ・課題：業務週報の提出。	
	11	Webサーバーを理解 Webサーバーを理解する ・課題：業務週報の提出。	
	12	Mailサーバーを理解 Mailサーバーを理解する ・課題：業務週報の提出。	
	13	OpenPNEの研究 一から全て制作は無理なので、オープンソースを理解する ・課題：業務週報の提出。 ・レポートの課題を提示する。	
	14	画面遷移の作成 画面構成・遷移をつくる ・課題：業務週報の提出。	
	15	画面作成 利用者の画面をデザインする ・課題：業務週報、レポートの提出。	

授業形態	地元企業と連携し、地域企業における「学生のやりたい仕事と企業 mismatches」という課題解決に向けた就職支援のための SNS を企業と共に開発・運営し、発展させ、学生と地元企業の双方にとって有益となる情報共有のための仕組みづくりを目指す。当初は、情報学部を学生を対象とするが、大学全体、他大学へと広げていきたい。将来的には、さらに業務内容を拡大していきたい。 授業は実習先の支援を得て、最初に現状の課題を抽出し、その解決策と作業目標を作成する。以降、毎回、全員あるいはグループで目標達成を阻害する課題を抽出し、解決方法を検討しながら作業を進める（アクティブラーニング：⑤と⑥に該当）。 アクティブラーニング：①：0回、②：0回、③：0回、④：0回、⑤：15回、⑥：15回
達成目標	本講義では以下のことを目的とする。 ・企業の組織、運営、業務遂行方法等について、実際の企業の中で学び、社会人としての基礎力をつけると共に、将来起業を目指す学生にも資する内容とする。 ・IT関連技術・能力を高める。
評価方法・フィードバック	毎週提出する「業務報告書」30%、期末に提出する「レポート」40%、「実習先の評価」30%で評価する。 「業務報告書」に対するコメントにより、フィードバックを行う。
評価基準	秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点、不可：59点 以下
教科書・参考書	なし
履修条件	「特別プログラム1」，「特別プログラム2」を履修していること。
履修上の注意	「実践ベンチャービジネス2」と併せて、通年の科目として履修すること。
準備学習と課題の内容	以下の「準備学習」と「課題」を必ず行うこと。 ・事前学習：次回の作業に備え、課題や解決方法の検討を行っておくと共に、必要となる技術については事前に調査しておくこと。（1.5時間程度） ・課題：毎回、「業務報告書」により進捗状況、課題、対策などを報告し、「レポート」により最終的な活動成果を報告すること。授業中に完了しなかった部分は課題として持ち帰り、作業の進捗を図ること。（1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:30%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	